

4 ポートおよび 8 ポート非同期/同期ネットワーク モジュールの概要

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[製品番号](#)

[機能](#)

[プラットフォームのサポート](#)

[設定](#)

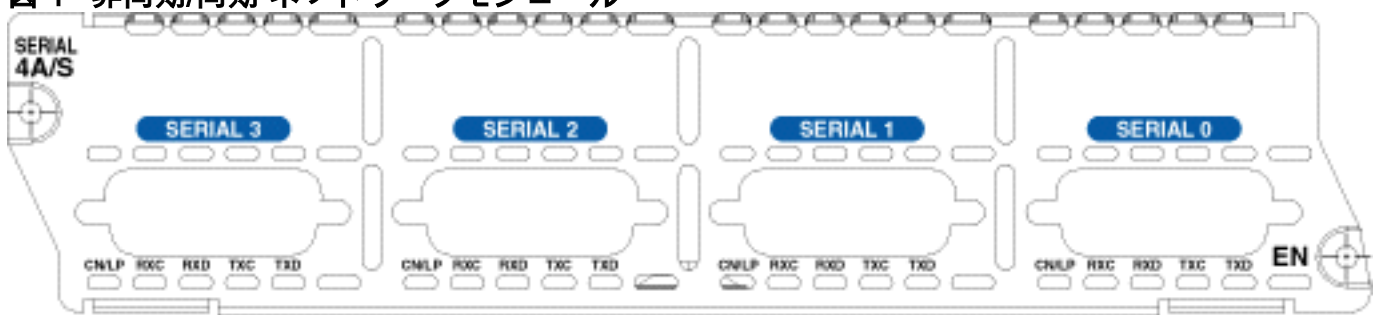
[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、4 ポートおよび 8 ポートの非同期/同期ネットワーク モジュールについて説明します。

4 ポート (NM-4A/S) および 8 ポートは (NM-8A/S) 非同期/同期 (非同期/同期) ネットワーク モジュールが async 接続に与える 115.2 キロビット/秒に高速化します、および同期化接続はとの 128 キロビット/秒に高速化します。これらのモジュールは Cisco 2500 および Cisco 7000 シリーズ ルータで使用されるそれらと同じようなケーブル "5 1" の 60 ピンを使用します。

図 1 –非同期/同期 ネットワークモジュール



前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

[Platform Support セクション](#)を参照して下さい。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

製品番号

このセクションは製品番号が意味するものを説明します。

- NM-4A/S — 4 ポート非同期/同期ネットワークモジュール
- NM-8A/S — 8 ポート非同期/同期ネットワークモジュール

機能

4 ポート（NM-4A/S）および 8 ポート（NM-8A/S）非同期/同期（非同期/同期）ネットワークモジュールの機能はここにあります：

- それに 4 つか 8 つの非同期/同期ポートがあります。
- Cisco 2500 および Cisco 7000 とそれはコネクタ "5 [1"](#) の Cisco 60 [ピン](#)を使用します（同じ）。
- それは Cisco 2500 および Cisco 7000 と同じケーブル接続を使用します。
- 最大速度は async のための 115.2 キロビット/秒、同期化外部クロックのための 128 キロビット/秒、および内部クロックのための 125 キロビット/秒です。

プラットフォームのサポート

この表はサポートされるプラットフォームをリストしたものです：

Cisco IOS® ソフトウェアのサポ ート	Cisco 2600、 2600X M	Cisco 3620、 3640	Cisco 3631	Cisco 3660	Cisco 2691、 3725、 3745
NM-4A/S	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン
NM-8A/S	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン	すべての の Cisco IOSバ ージョ ン

	ー ジ ヨ ン	ー ジ ヨ ン	ー ジ ヨ ン	ー ジ ヨ ン	
--	------------------	------------------	------------------	------------------	--

注: 提供されている Cisco IOS ソフトウェア リリースは、通常はその問題となっているプラットフォーム、モジュール、機能をサポートするための、最低限のものになっています。ネットワークデバイスのための適切なソフトウェアを選択するのに [Software Advisor](#) ([登録ユーザのみ](#)) を使用して下さい Cisco IOS および CatOS リリースにソフトウェア機能を一致させましたり、ソフトウェア リリースがハードウェアをサポートする IOS リリースを比較するか、または調べます。

設定

4ポートおよび 8ポート 非同期/同期ネットワークモジュールで、インターフェイスはインターフェイス シリアル <slot>/<unit> として当たります。ユニットは右から左へ番号が付いて、越えるために底を付けます。

これらのモジュールのデフォルト設定は同期です。非同期通信のためのモジュールを設定するために `physical-layer async` コマンドを使用して下さい。非同期コンフィギュレーションのセクションはここにあります:

```
maui-soho-01(config)#interface Serial 2/0
maui-soho-01(config-if)#physical-layer async
!--- Places the interface in asynchronous mode. !--- Continue to configure this Serial interface
as you would configure !--- an Async Interface. maui-soho-01(config-if)#ip add 10.0.0.1
255.255.255.0
maui-soho-01(config-if)#async mode interactive
maui-soho-01(config-if)#async default routing
maui-soho-01(config-if)#dialer in-band
maui-soho-01(config-if)#dialer map ip 10.0.0.2 name maui-nas-01 broadcast 5551111
!--- These commands are part of a broader DDR configuration.
```

このようなインターフェイスにモデムを接続する場合は、『[AUX ポート上のモデムを使用したダイヤルアウトの設定](#)』を参照してください。このドキュメントでは AUX ポートを使用します。ただし、設定は非常に類似したです。

インターフェイス番号をライン番号にマッピングし、それから装置番号を追加するために 32 を最初にスロット 番号に、掛け 1 を追加するために: $\text{ライン番号} = (\text{<slot>} * 32) + \text{<unit>} + 1$ 。

デフォルト syncモードに戻すのにコマンド `物理レイヤ同期`か `no physical-layer async` を使用して下さい。インターフェイスを通常のシリアル動作に設定する方法については、『[シリアルインターフェイスの設定](#)』を参照してください。

関連情報

- [シリアル インターフェイスの設定](#)
- [AUX ポート上のモデムを使用したダイヤルアウトの設定](#)
- [ユニバーサル ゲートウェイおよびアクセス サーバ製品のサポート](#)
- [ダイヤル アクセス: テクノロジーに関するサポートページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - シスコ](#)